

《履修上の留意事項》遠隔授業のみ実施

《担当者名》○桜庭聡 坂上哲可

【概要】

ディプロマポリシーに掲げられた5つの要件を満たすための前段階として脳損傷後の高次脳機能障害の症状と発生機序について理解し、作業療法士として臨床に必要な各症状の評価方法および治療介入について学習する。

【学習目標】

高次脳機能障害に対する作業療法介入が行えるように症状やその発現機序について理解することができる。
症状と発生機序、鑑別診断と治療プログラムの立案までの基本的知識を習得する。

1. 高次脳機能障害の症状、発現メカニズムおよび病巣について説明できる
2. 高次脳機能障害に対する評価について説明できる
3. 高次脳機能障害に対する治療について説明できる

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	高次脳機能障害総論 (課題提出)	・授業の構成および成績評価に関するオリエンテーション ・高次脳機能障害の定義 ・高次脳機能障害を支える社会資源 以上について課題レポートを提出	坂上哲可
2	高次脳機能障害総論 (課題提出)	・脳の解剖学的構造と機能(局在とネットワーク) ・脳の側性化(lateralization)と高次脳機能障害 以上について課題レポートを提出	坂上哲可
3	オリエンテーション 外傷性脳損傷と高次脳機能障害	・外傷性脳損傷の病態 ・外傷性脳損傷後の高次脳機能障害 ・外傷性脳損傷に対するリハビリテーションアプローチ	桜庭 聡
4	脳画像と高次脳機能障害	・脳の構造画像(CT/MRI)の読影 ・画像情報の臨床的有用性	桜庭 聡
5	高次脳機能障害の評価と治療	高次脳機能障害の評価および治療の原則 ・高次脳機能障害の評価プロセス ・高次脳機能障害における評価、治療の阻害要因	桜庭 聡
6	注意障害の評価と治療	全般性注意障害の症状特性 全般性注意障害における各種神経心理学的検査、観察評価 全般性注意障害のリハビリテーションアプローチ	桜庭 聡
7	半側空間無視の評価と治療	半側空間無視の症状特性 半側空間無視における各種神経心理学的検査、観察評価 半側空間無視のリハビリテーションアプローチ	桜庭 聡
8	記憶障害の評価と治療	記憶障害の症状特性 記憶障害における各種神経心理学的検査、観察評価 記憶障害のリハビリテーションアプローチ	桜庭 聡
9	失語症の評価と治療	失語症の症状特性 失語症における各種神経心理学的検査、観察評価 失語症のリハビリテーションアプローチ	桜庭 聡
10	視覚モダリティーにおける失認と関連症状の評価と治療	視覚失認および関連症状の症状特性 視覚失認および関連症状の各種神経心理学的検査、観察評価 視覚失認および関連症状のリハビリテーションアプロ	桜庭 聡

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
		ーチ	
11	失認・失読・失書の評価と治療	失認・失読・失書の症状特性 失認・失読・失書の各種神経心理学的検査、観察評価 失認・失読・失書のリハビリテーションアプローチ	桜庭 聡
12	失行の評価と治療	失行の症状特性 失行における各種神経心理学的検査、観察評価 失行のリハビリテーションアプローチ	桜庭 聡
13	認知症の評価と治療	認知症の症状特性 認知症における各種神経心理学的検査、観察評価 認知症のリハビリテーションアプローチ	桜庭 聡
14	遂行機能障害の評価と治療	遂行機能障害の症状特性 遂行機能障害における各種神経心理学的検査、観察評価 遂行機能障害のリハビリテーションアプローチ	桜庭 聡
15	まとめ (課題提出)	事例に関するグループ討論 これまでの講義の振り返り 以上について課題レポートを提出	坂上哲可 桜庭 聡

【評価方法】

定期試験100%

→課題レポート30% 定期試験70%

【備 考】

教科書：石合純夫 著 「高次脳機能障害学 第2版」 医歯薬出版 2012年
能登真一 他 編 「高次脳機能作業療法学」 医学書院 2012年

参考書：山鳥 重 他 編 「高次脳機能障害マエストロシリーズ」 医歯薬出版 2007年
三村 将 他 編 「高次脳機能障害マエストロシリーズ」 医歯薬出版 2006年
鈴木孝治 他 編 「高次脳機能障害マエストロシリーズ」 医歯薬出版 2006年
鈴木孝治 他 編 「高次脳機能障害マエストロシリーズ」 医歯薬出版 2006年
長崎重信 他 作業療法学ゴールド・マスター・テキスト「高次脳機能障害障害作業療法学 第2版」 メジカルビュー社 2016年

【学習の準備】

教科書、また参考書を含む関連図書、文献を用いて予習・復習すること。

事前学習と事後学習にそれぞれ80分を費やすこと。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

(DP4)リハビリテーション専門職として必要な科学的知識や技術を備え、心身に障害を有する人、障害の発生が予測される人、さらにはそれらの人々が営む生活に対して、適切に対処できる実践的能力を身につけます。

【実務経験】

桜庭聡（作業療法士）、坂上哲可（作業療法士）

【実務経験を活かした教育内容】

身体機能障害領域の医療機関における実務経験を基に、臨床での高次脳機能の評価及び介入の実際を踏まえた講義を行う。